



丘珠空港ニュース

発行：札幌市まちづくり政策局空港活用推進室 TEL 011-211-2357

「丘珠空港の将来像」に基づく国への要望を実施

札幌市の活力向上・北海道全体の発展のために丘珠空港が進むべき方向性をまとめた「丘珠空港の将来像(令和4年11月策定)」に基づき、今後、必要となる空港整備などについて、国への要望を実施しました。

要望は、札幌市・北海道・地元経済団体・札幌丘珠空港ビル(株)・北海道エアポート(株)で構成する「札幌丘珠空港機能強化推進協議会」が、令和4年12月15日及び令和5年2月2日に国土交通省及び防衛省にそれぞれ実施しました。

今後も、関係機関、関係者と協力しながら将来像の実現に向けて取り組んでいきますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

◇ 将来像(案)に対するパブリックコメントや空港周辺地域での意見交換会では、延べ1,837名の方から合計3,855件のご意見をいただきました。ご意見の概要や札幌市の考え方、「丘珠空港の将来像」は市ホームページに掲載しています。

【札幌市：丘珠空港の利活用検討のホームページ】

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/okadama/rikatsuyo/rikatsuyokento.html>



目次：

「丘珠空港の将来像」に基づく国への要望を実施 1

航空各社
2023年夏ダイヤを発表 1

令和4年度
航空機騒音の
調査結果 2

トキエア
丘珠=新潟線の
就航に向け準備開始 2

ハイライト：

- 丘珠空港が進むべき方向性をまとめた「丘珠空港の将来像」に基づき、令和4年12月と令和5年2月に国への要望を実施。
- 航空各社が2023年夏ダイヤを発表。丘珠空港と名古屋(小牧)空港を結ぶ新規路線が就航。
- 令和4年度の航空機騒音調査でも、全地点において国の環境基準の範囲内で運航されていることを確認。
- 新潟空港(新潟市)を拠点とする地域航空のトキエアが、丘珠・新潟間の路線就航を計画。4月9日(日)から1日2回程度の離着陸を行う「路線訓練飛行」を予定。

航空各社 2023年夏ダイヤ※を発表

※令和5年(2023年)3月26日(日)～10月28日(土))

北海道エアシステム(HAC)

- これまで同様、道内外6路線を運航。
- 就航25周年を迎える2023年に、現在の3機体制から増機を行い、4機体制による運航を決定。秋頃から女満別・釧路・函館路線の増便が予定され、ますます便利になります。



画像提供：HAC

フジドリームエアラインズ(FDA)

- **名古屋(小牧)空港線が新規就航!**
3月26日から1日2往復の運航。
丘珠発は 10:25 と 19:05
- 4月28日までは、就航記念運賃も設定されています。是非、この機会に丘珠空港をご利用ください。
- 丘珠=松本、静岡の2路線も、例年どおり3月26日から運航再開。



画像提供：FDA

令和4年度 航空機騒音の調査結果

航空機騒音の調査については、例年民間航空機の定期便の運航が多い時期に実施しており、令和4年度は9月に、令和3年度と同様に右図の10箇所で行いました。

その結果、今回も全地点において国の環境基準の範囲内で運航されていることを確認しました。今後も継続して調査を実施していきます。各地点の測定値は、下表をご確認ください。



地域 類型	該当地域 丘珠空港を中心とした 半径約5kmの地域	環境基準値 (Lden)	測定結果		
			測定地点	測定値 (Lden) R4.9.17~23	参考 最大値(LAmax)
I	専ら住居の用に供される地域 ● 第一種低層住居専用地域 ● 第一種中高層住居専用地域 ● 第二種低層住居専用地域 ● 第二種中高層住居専用地域	57dB以下	太平小学校	50dB	85dB
			栄南小学校	48dB	76dB
			丘珠公園	52dB	86dB
			伏古せきれい公園	51dB	86dB
			拓北公園	40dB	78dB
II	I以外の地域であって通常の 生活を保全する必要がある地域 ● 類型I及び 除外地域以外の地域	62dB以下	百合が原公園	55dB	90dB
			モエレ沼公園	43dB	78dB
			丘珠ひばり公園	37dB	77dB
			上篠路ひよっこ公園	46dB	83dB
除外地域：空港敷地及び工業専用地域		無し	丘珠空港ビル屋上	82dB	99dB

※Lden：時間帯補正等価騒音レベルのことです。ある時間範囲について、変動する騒音レベルのエネルギー量の総量を評価した数値であり、環境基準はこの値を指標としています。

※LAmax：最大騒音レベル(ピークレベル)のことです。航空機が通過した時に発生した「騒音レベルの最大値」を示しています。

トキエア 丘珠 = 新潟線の就航に向け準備を開始

- 新潟空港(新潟市)を拠点とする地域航空のトキエアが、令和5年度中の丘珠 = 新潟間の路線就航(1日2往復)を計画しています。
 - 安全への取組については、民間航空機または自衛隊機の操縦経験を有するパイロットや、整備士の全員が一等航空整備士の資格者といった環境の下、徹底して行うとのことです。
 - 4月9日(日)から3か月間程度、「路線訓練飛行」という定期便と同じ環境での飛行が予定されており、離着陸回数は1日2回程度となる見込みです。
 - 詳細や最新情報は、トキエアのホームページ(<https://toki-air.com>)でご確認ください。
- ①11:45着・12:00発、②14:45着・15:45発



画像提供：トキエア(株)



さっぽろ市
02-804-22-2707
R4-2-1685